



# 新しい朝

府中市立府中第十中学校

学校だより No.7

令和元年11月25日

## 心の高め方

校長 竹内 康裕

○若い子からの優しい『どうぞ』。とてもうれしかったです。(幅の狭い歩道で)

○『自分たちがやります』と仮設トイレを進んで組み立ててくれました。(小学校の防災訓練で)

○小さな子に笑顔、保護者にも気配り。素晴らしい生徒さんたちでした。(運動会のボランティアで)

○目の高さをあわせて、キーホルダーを息子にいただきました。笑顔が素敵。ありがとうございました。

(ラグビーW-Cup おもてなし街頭ボランティアで)

○毎年、野菜を楽しみにしています。お金の使い道を知って、買った私もお役に立てると思いました。

ボランティア(volunteer)には「自発的」という意味が含まれていて、その活動にはやる気と笑顔があります。あらかじめ誰かが計画した活動もあれば、日常のふとした優しい言葉や振る舞いも当てはまると思います。どちらも世の中や人のためになることです。その後ろにはその人(たち)の温かい心があって、それが行う側と受ける側両方の気持ちを温かく繋がります。

ずいぶん前のことですが、車中、大学生と思しき若者の声が耳にとまりました。「あーあ、明日、ボランティアだ。」「いやだな」。このような内容でした。(実際の口調は心が痛むので書きません。) 「そんな気持ちで『ボランティア』かい?」、さすがに私も口にはしませんが、強烈な会話でした。大学の課題か何かで半ば強制的に「やらされる」と考えているようです。マイナス思考の彼らと一緒にやる人たちや、たとえ半日でも彼らのお世話になる人たちの“明日”は、どんな光景なのでしょう。温かいつながりのようなものは何一つ浮かんできませんでした。やっているうちにそんな気持ちが高まってくるとをねらいとしたボランティア体験型授業や同様のカリキュラムも聞いたことはあります。もちろんその趣旨には賛同です。それでもあの時は心が凍るような、なんとも形容の難しい感覚でした。

ボランティア活動は人のために何かを“してあげる”活動、得をするのは受ける人、儲けはないし、時間と体力を使う。・・・否。私は強く否定します。

ボランティア活動とは、その活動を通して自分が成長できるもの、自分の心を豊かに、考え方を広くしてくれるもの、自分の成長のチャンスだと思います。「ありがとう」を心のどこかで待っていたり、褒めてもらうことを無意識にも期待したりするものではありません。人の役に立てること、「自分の力の使いかた」の中で一番高尚な行為であり、結果として自分の心をより高められるものだと思います。やり終えたときの爽快感や充実感、自分の心や考え方がその先どんな方向へ伸びていくのか、やってみなければわからないけれど、やってみたらなんとも気持ちがいいのです。ボランティア活動は自分の心を磨き考え方を高められる最も効果的な手段だと思います。

きっかけはどうであれ、そういう経験をした人は多いことでしょう。損得や傲り(おごり)なしに、「自分の頑張りが誰かの役に立っている。喜ばれている。そのことが純粹にうれしい」。「自分の心が少し美しくなったような、くすぐったいような、でも爽やかな感覚がなんともいい」。両者がうれしい。これがボランティアの醍醐味だと思います。たとえ他人のために始めても、終わったときには自分が満たされている。ボランティアを続ける人たちは、そのような充実感を何回も味わっているのでしょう。

あの学生さんたちの次の日の始まりは渋々でも、終わった後は清涼感に包まれていたらいいなと思います。

## ■□ 部活動の記録 ■□

### 【男子バスケットボール部】

#### ①第62回府中市市民大会 準優勝

・市民大会は、準優勝というすばらしい結果で終わることができました。大会一週間前に3年生が練習を再開し大会に臨みましたが、OF・DFともに動きが非常によかったです。

#### ②第9ブロック 新人大会 第三回戦敗退

・新人大会では、シュート率に悩んだ試合となりました。しかし、DFは非常によかったです。冬は、シュート力の強化を主に練習を重ねていきます。

### 【女子バスケットボール部】

#### ①第62回府中市市民大会 (第3位)

・市民大会は3年生最後の大会で、少ない人数でしたが全員で戦って3位という結果でおわるることができました。

#### ②第9ブロック 新人大会 (第4位：都大会出場権獲得)

・新人大会は四回戦で敗退し、2位リーグに進みました。このリーグで首位を獲得し、大会全体の4位になりました。3年生が抜け、さらに少ない人数ですが全員で戦うことができました。11月中旬の都大会に出場し、精一杯取り組んでいきます。

### 【剣道部】

#### ①男子団体戦・1回戦敗退 (vs 神代中)

・5名のところ4人での参加でしたが、初めて大会に出場する選手が多い中、みんな礼儀・作法がきちんとできていました。

#### ②男子個人戦・高羽海斗 1回戦敗退 (vs 四小剣)

・1回戦、果敢に攻めていました。

### 【サッカー部】

#### ①第九ブロック新人大会 リーグ敗退

・人数が少ない中、それでも一生懸命にボールを追いかけたり、声を掛け合って試合を進めている様子が見られました。

#### ②府中市市民体育大会秋季大会 第四位

・第三中学校と合同チームを組ませていただき、練習時間の少ない中でよく協力し頑張っていました。

### 【バドミントン部】

#### 第九ブロック新人大会

団体戦 男子 1回戦敗退 女子 1回戦敗退

男子個人戦 渡邊 秀汰 ベスト8進出

・1年生は初めての試合で緊張しながらも全力でプレイをしました。2年生は勝ち進む生徒も増えて成長を感じました。

## 【吹奏楽部】

連合音楽会に参加し、演奏をしました。

演奏曲：「Wing Colors」 「SEKAI NO OWARI コレクション」

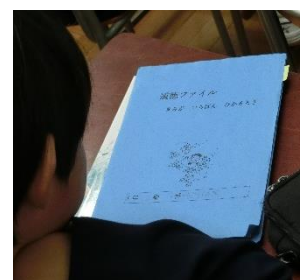


## ■□道徳地区公開講座■□

11月2日（土）道徳地区公開講座を行いました。十中では、学年の教員が交代で学年の全学級を回って道徳の授業を行うローテーション道徳に取り組んでいます。自分の専門教科など得意分野に引きつけて道徳の授業を展開したり、何度も同様の教材で授業を行うことにより指導力の向上につながったり、学級担任が自分のクラスの授業を参観することが可能となり、普段の授業とは違う角度から子供たちの新たな一面を発見することができるなど、成長の様子をより多面的・多角的に把握することができると考えています。充実した道徳の時間を確保すべく、試行錯誤しながらチームで取り組んでいます。

意見交換会では、保護者・地域の方々からご意見・ご感想をいただきました。

- ・生徒から「人を思いやることは、自分も成長させること」という声があがった。
- ・自分はどうか、話し合いを通して考える道徳の授業は大切。
- ・グループでの話し合い…笑ったり、まじめになったりでよかった。
- ・今日のように生徒どうしが話し合える機会があるとよい。
- ・いろいろな人の意見を聞ける道徳の時間…よい。
- ・グループにして話し合うようにすると、ハードル低くものを言える。
- ・よく聞いて、よく話し合いをしている。
- ・授業準備に係る先生方の工夫に感心しました。
- ・ストレートに自分の考えを言える雰囲気であった。



## ■□作文入賞■□

◎府中市小・中学生の人権作文発表会

2-3 塚田 怜佳さん

「まずは知ることから」

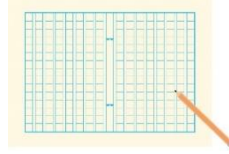
\*「令和元年度全国中学生人権作文コンテスト東京都大会」において「優秀賞」にも選考されました。

◎税の作文

武蔵府中納税貯蓄連合会優秀賞

3-1 松橋 愛さん

「支えられていた」



日時：12/1（日）13：30～

会場：府中の森芸術劇場ふるさとホール

## ■□東京駅伝■□

令和2年2月2日（日）に開催される第11回東京駅伝大会の府中市代表選手42名が決定しました。十中からは佐藤 由菜さん（2-1）が選出されました。これから結団式、練習会を重ねチーム府中として団結を強め本番に臨みます。

## ■□ 地域防災（防災宿泊訓練） ■□

10月18日（金）19日（土）に青少年対策第十地区委員会、府中第十中学校スクールコミュニティ協議会主催による1泊2日防災宿泊訓練を行いました。およそ80名の保護者や地域の方が参加しました。消防団第14分団と十中PTAの協力を得て、第Ⅰ部は、避難所運営説明、防災倉庫の確認、炊き出し訓練を行いました。宿泊訓練の第Ⅱ部では22名が参加をしました。武道場に一人一畳分のスペースでゾーニングをし、避難所生活の疑似体験をしました。10月12日から13日にかけての台風19号通過に伴い、実際に避難所になったこともあり、その時の状況も踏まえての訓練となりました。

（宿泊の様子）



（ポッチャ大会で親睦）



## ■□府中市総合防災訓練（避難所開設訓練）■□

10月27日（日）避難所開設訓練が実施されました。多くの地域の方たちが参加し防災意識の高さを感じました。「運営本部の設置」「避難者対応」「避難所開設準備」「避難者受け入れ」などを行ったことから見えた問題点や課題を今後にかしていきたいと思います。

